

議会議案第7号

防災庁の群馬県誘致を求める意見書(案)

上記意見書案を別紙のとおり安中市議会会議規則第13条の規定により提出します。

令和7年6月20日提出

提出者	安中市議会議員	今井敏博
-----	---------	------

賛成者	安中市議会議員	柳沢浩之
-----	---------	------

	同	武者葉子
--	---	------

	同	金井久男
--	---	------

	同	櫻井喜久江
--	---	-------

安中市議会議長 佐藤貴雄 様

防災庁の群馬県誘致を求める意見書(案)

戦後の我が国においては、政治・経済の中心である東京に人口や企業の本社機能などが一極集中してきました。そのような中、現在では、日本全体で人口減少・超高齢社会となり、地方においてはその傾向が顕著となっています。

これを受け、国では、地方創生を推進しているところであり、地方がそれぞれの特徴を生かしながら、魅力ある社会を築いていくことが求められています。

過日、内閣府において「防災庁設置準備室」が発足され、国は令和8年度の「防災庁」創設を目途に、人命最優先の防災立国を目指すものとして準備を始めました。我が国は、数々の台風をはじめとする風水害や地震災害などに見舞われ、災害大国としての一面もあることから、日本の災害対応の司令塔となる防災庁の立地については、耐災害性を十分に考慮しなければなりません。

一方で、防災庁が内閣の直轄組織となる旨の報道もありましたが、国の中枢である東京都からの近さも求められています。

このことから、関東圏内の中で、地震や風水害の災害リスクが少ない群馬県は防災庁設置に非常に適した立地であると考えられます。

よって、国におかれては、地方創生の意義や耐災害性の立地などを踏まえ、防災庁を群馬県へ誘致するよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和7年6月 日

安中市議会議長 佐藤 貴雄

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

防災庁設置準備担当大臣

あて